

記者提供資料	
情報提供日	2026年(令和8年)6月22日 No.202603
問い合わせ先	広報プロモーション室 天文科学館 (担当:井上・鈴木) TEL:078-919-5000(内線:7152)

天文科学館リニューアル・オープン情報

先にご案内しました通り、天文科学館は約10カ月間の休館期間を経て、施設設備や展示内容を更新し、2026年(令和8年)7月30日(木)に、より快適で魅力あるミュージアムとしてリニューアル・オープンします。リニューアルのポイントについて下記の通りご案内いたします。

記

1 リニューアル概要

天文科学館は、約10か月間の休館期間を経て、施設設備や展示内容を更新し、より快適で魅力あるミュージアムとしてリニューアル・オープンします。

(1) 施設整備

- ① 空調設備や照明設備の更新により、快適な観覧環境の向上と環境負荷の軽減を両立しました。
- ② エレベーターの更新により移動時間が短縮され、展望室や展示室へのアクセス性も向上しました。
- ③ 屋上防水工事に伴い、日時計広場の整備や日時計の配置更新を行うことで、日時計広場全体の景観を一新しました。
- ④ 明石海峡の絶景を望む展望台もフロアや壁面をリニューアルしました。
- ⑤ デジタル推進課と連携し、入館受付やミュージアムショップにおけるキャッシュレス決済にも対応します。



明石海峡の絶景を望む展望室



日時計広場レイアウトもリニューアル

(2) プラネタリウム

国内現役最古のプラネタリウムは、状態もよく引き続き稼働を続けます。リニューアルに向け恒星原板の修繕により、明るい星の輝きが回復します。

音響設備とドーム映像の更新を行い、迫力あるサウンドと、宇宙旅行やオーロラ映像など、美しい全天周映像の投影が可能となりました。学芸員による専門的かつ親しみやすい生解説を継続し、最古と最新の技術を組み合わせ、伝統的かつ革新的なプラネタリウム投影を行います。



<一般投影>

「～リニューアル・オープン記念投影～ 明石発・宇宙の旅2026」(7月30日～8月30日)

<キッズ・プラネタリウム>

「キラリ☆ながればしのひみつ」(8月1日～8月30日)

リニューアルを契機として、投影スケジュールを以下の通り変更します。

	10:00-	11:30-	13:00-	14:30-	16:00-
平日	団体予約がある場合のみ	一般投影	一般投影	一般投影	一般投影
土日祝 及び学校 長期休業中	キッズプラネタリウム	一般投影	キッズプラネタリウム	一般投影	一般投影

※投影時間を1時間半ごとの開始として、わかりやすくしました。(投影時間：約45分)

(3) 「時」の展示の充実等

時に関する展示コーナー（時のギャラリー）では、時計の歴史パネルを更新し、展示什器のレイアウト変更を行うとともに、情報通信研究機構（NICT）で実際に使用されていた日本標準時を発信していたテレフォンJJY送信機（実物）、など、「時」に関する展示の充実を図り、「時のまち明石」の魅力発信に努めます。また、整備を行った日時計広場に、セイコーグループ株式会社より寄贈を受けた「セイコークラゲ日時計」の展示をおこないます。この日時計は、昨年開催された大阪・関西万博のクラゲ館で展示された直径2メートルの大型日時計であり、6月6日に寄贈式がおこなわれたものです。セイコークラゲ日時計は、日時計広場の新たなシンボル展示となることが期待されます。

このほか宇宙分野についても、最新情報を反映した展示更新を行います。



大阪・関西万博のクラゲ館で展示された「セイコークラゲ日時計」

2. 登録博物館への移行

天文学館は、博物館法における博物館相当施設でしたが、令和8年5月13日付で登録博物館へ移行することができました。登録博物館となることで、正式な博物館として、資料保存や調査研究、教育普及活動などにおいて、さらなる機能充実と国等との連携強化を図ります。

3. 国際連携

6月22日（月）より福岡市で開催される国際プラネタリウム協会の世界大会にて、当館の学芸員も参加し、発表などを行います。こうした取り組みを契機として、展示やイベントへの協力など国際的な連携を進めていきたいと考えています。

6月27日（土）13時～16時には海外のプラネタリウム関係者を招いた明石市立天文学館の見学会を開催します。メディア取材可能ですので、希望がある場合は前日までに当館にご連絡ください。

